

3.3 広報活動について

e！プロジェクトのコンセプトは、2005 年に来るべき IT 社会を実現するために必要となるインターネット基盤技術の調査研究を行うとともに、これら技術を適用したアプリケーションを通じて、世界最先端の IT 国家のイメージを広く国民に提示するものであることを踏まえ、本実証実験並びに、そのアプリケーションの総体である IT Week を推進するにあたっては、IT Week のウェブサイトの開設及びチラシやポスターの配布など、広く一般市民に向けて PR を行うとともに、定例記者会見での記者発表、各新聞社の取材への対応など、積極的な広報活動を行った。

(1) IT Week の広報

世界最先端の IT 社会の実現に向けた本実証実験の取り組みについて、広く一般市民に知らしめるとともに、インターネットモニター等を通じた本実証実験への、多くの市民の参加を募るため、ウェブサイトの開設、チラシやポスターの配布、ネットライフリウム 2003 での展示など、積極的な広報活動を行った。また、アジア諸国の研究者が集まる APAN 会議や、玄海プロジェクト協議会ミーティングを通じて、国外へも PR を行った。

表 3 - 3 IT Week の広報活動の概要

区 分	広 報 内 容
ウェブサイトでの PR	<ul style="list-style-type: none"> IT Week の目的、各アプリケーションのスケジュール、内容等について広報 インターネットモニター募集の HP の URL も掲示
ポスター・チラシの配布	<ul style="list-style-type: none"> IT Week で実現する世界最先端の IT 社会のイメージをポスター、チラシにデザイン アプリケーションの日時、場所、コンテンツ等についても広報
ネットライフリウム 2003	<ul style="list-style-type: none"> IT Week で実施した各アプリケーションの収録ビデオの放映、説明パネル、模擬システムを展示 横浜会場と韓国の大学を連携したカンファレンスシステムのデモを実施
APAN 会議、 玄海プロジェクト協議会	<ul style="list-style-type: none"> APAN 福岡会議や玄海プロジェクト協議会の各ミーティングを通じて、韓国を中心とするアジア諸国の研究者へも PR を実施

(2) マスコミを通じた広報

本実証実験及び IT Week に関して、定例記者会見を通じて記者発表を行うとともに、各ショーケース会場における新聞社の取材への対応など、積極的な広報活動を行った。

具体的な、記者対応の内容は、表 3-4 のとおり。また、本実証実験及び IT Week に関する新聞記事については、表 3-5 のとおりである。

表 3 - 4 新聞社や出版社への対応について

項 目	時 期	発 表 内 容	対 応 記 事
新聞取材への対応 日本経済新聞 西日本新聞	H14 年 12 月 27 日	e!プロジエクトの概要 実証実験の概要など	先端 I T 玄海灘の架け橋 ～ 遠隔講義や TV 会議 (日本経済新聞) 12 月 31 日掲載
定例記者会見での 記者発表	H15 年 1 月 22 日	e!プロジエクトの概要 IT Week の概要 ・実施体制 ・実施内容	朝日新聞、読売新聞、 日本経済新聞、 日刊工業新聞、 日本工業新聞、電気新聞、 西日本新聞
福岡経済記者クラブ 加盟各社へ取材案内	H15 年 2 月 7 日	IT Week の取材案内	共同通信、日本経済新聞、 朝日新聞、毎日新聞、読売 新聞、地元テレビ局など
出版社への対応 照林社	H15 年 2 月 12 日	九州大学病院での日韓 医療スタッフ交流での 概要説明	照林社発行の医療情報誌 「イキル-トナリ」の 6 月号 または 7 月号に掲載予定
当社の社外向け雑誌 への情報提供	H15 年 2 月 16 日	九州大学での日韓国際 遠隔講演(ア-ト)での 概要説明	平成 15 年 4 月創刊予定の 季刊誌に掲載 配布先：九州内の企業

記者発表資料は添付資料に掲載

表3 - 5 e!プロジェクト及び IT Week 関連の記事一覧

時 期	新聞社名	タ イ ト ル
H14.10.19	西日本新聞	IT 研究 光ケーブルで ~新ビジネス、技術者育成目指す
H14.12.13	読売新聞	日韓で光ケーブル講義 ~数千人規模バーチャル会議も
H14.12.31	日本経済新聞	先端 IT 玄海灘の架け橋 ~遠隔講義や TV 会議
H15.01.20	日刊工業新聞	日韓政府が共同研究支援 ~每秒 1ギガビットの回線運用
H15.01.23	朝日新聞	光ファイバ使って日韓交流 ~遠くの講義もライブ感覚で
H15.01.23	電気新聞	光海底ケーブルで文化交流 ~日韓の実証試験開始
H15.01.23	西日本新聞	日韓交流促進へ光ケーブル活用 ~産学官結び連携強化
H15.01.23	読売新聞	日韓超高速ネット実証実験
H15.01.23	日刊工業新聞	超高速回線で実証実験 ~2.4ギガビット日韓の大学間を接続
H15.01.23	日本経済新聞	通信網で学校交流実験
H15.01.27	日本工業新聞	次世代ネットで実験 ~日韓大学間の遠隔講義など
H15.02.16	読売新聞	映像、音声のネット実験 ~玄界中の生徒、大学生と交流
H15.02.18	西日本新聞	日韓結んで IT 事業 ~玄界中生徒と釜山大学の学生が交流
H15.02.18	電気新聞	光ケーブルで日韓交流 ~講演会を同時中継
H15.02.19	日刊工業新聞	日韓大学間で遠隔講義 ~研究開発や学術交流支援

各新聞掲載記事は添付資料に掲載

(3) チラシ及びポスターを通じた広報

IT Week 及びネットライフリウム 2003 の PR のため、チラシ及びポスターを作製し配布した。
 これについては、図 3-5 及び図 3-6 のとおり。



図 3 - 5 IT Week のチラシ及びポスター(同じ図柄 チラシ：A4、ポスター：A2)

国際文化分野

実施地域：福岡県



本実験は、超高速大容量の日韓日韓光ケーブル：KJCN (Korea-Japan Cable Network) 及びIPv6技術を用いてインターネット基盤技術の高度化に関するシステムを構築し、遠隔協調型の教育アプリケーション等、各種アプリケーションを通じて、日韓の総合的な情報交換を実現することにより、IPv6インターネット利用基盤の有効性を検証し、近い将来の高度IT社会における日韓文化交流の姿を実証する。

福岡県の「ふくおかIDC」と韓国の学術ネットワークを九州電力の「日韓光海峽ケーブル」で接続して日韓間の超高速ネットワークを構築

- ・ 回線容量 2.4ギガビット
- ・ 接続先 国内：九州大学、九州工業大学、九州産業大学、九州システム情報技術研究所など
韓国：慶熙大学、忠南大学、釜山大学など



産学官の連携にて実証実験を実施

- ・ 福岡県
- ・ 九州大学、九州工業大学、九州産業大学、九州システム情報技術研究所
- ・ 九州電力、キューデンインフォコム(OIC)、QINet

協力：九州電力

図3 - 6 ネットライフリウム 2003 のチラシ(展示パネルの縮小版)

(4) ウェブサイトを通じた広報

IT Week の開催に伴い、ウェブサイトを通じて概要や開催スケジュールについて PR を行った。これらについて、図 3-7 に示す。

[ウェブサイトの URL] <http://itweek.info/>

[ウェブサイトの掲載項目]

- | | |
|--------------------|----------------------------------|
| Outline | : IT Week の概要を紹介 |
| Schedule | : 期間中に開催されるアプリケーション実験のスケジュール紹介 |
| Links | : IT Week への協力機関・学校及び企業の URL を紹介 |
| Event Photo Report | : 各アプリケーションの実施風景を写真で公開 |



図3 - 7 ウェブサイトの画面(Out line と Schedule のみ、その他は添付資料に掲載)